

ROTARY INTERNATIONAL
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 365

YOSHIYUKI OKAJIMA

c/o NICHIMEN CO.,
P. O. BOX CENTRAL NO. 18,
OSAKA, JAPAN



NO. 1 (July 1, 1965)

ガバナー月信 第1信 (昭和40年7月1日)

第365区ロータリークラブ
会長並に幹事殿

国際ロータリー第365区ガバナー

岡島美行

ティーンストラ会長の本年の課題

President Teenstra's Program

さる5月20日より28日まで北米合衆国 Lake Placid で国際協議会が開かれましたが、その節今年度のR. I. 会長 Teenstra氏が「本年の課題」として要望せられた諸点を次に摘録ご紹介いたします。

「行動」を!

“奉仕せんとするものは行動を必要とするがゆえに、ロータリーは単なる心構えのみをもって足りぬとするものではない。ロータリーの哲学は単なる観念論にあらずして、これを実体行動に移すべきである。奉仕の理論はロータリアン個人により、ロータリークラブにより必ず実践されねばならぬ。”

上記は米国セントルイスにおけるロータリー世界大会の決議の1節を引用したものである。——1923年、今日から40余年昔の決議であるが、しかもなお厳然と生きている——これによればロータリークラブは明かに根本から「行動する」クラブである。

それゆえに、本年度の貴クラブのプログラムはあくまでも action ——行動——のプログラムを組まねばならない。

行動の要領

○持続せよ、好成績の活動を。



国際ロータリー会長 ティーンストラさん

- 放棄せよ、不成績の計画を。
- 修正せよ、改善の余地ある活動を。
- 拡大せよ、発展の見込みある計画を。
- 採用せよ、過去に怠った活動部門を。
- 創始せよ、新規部門の活動を。

以上を四大奉仕部門のすべてにあてはめて
検討実行すれば貴クラブの活動には

「地固めと持続性」

がもたらされるであろう。

私のこのメッセージを結ぶに当り本年は特に
次の4つのプログラムの推進に一段の努力を
払われることをお願いしたい。

- (1) 地区対地区のプログラム——このプロ
グラムは地区並びにクラブ・レベルで、ある
いはロータリアン個人同志で国際理解を一
層深めるために計画されたものであるが、
実施後2年の歳月と経験を経てさらに改善
されたものとなった。
- (2) 世界社会奉仕活動——地区対地区のプロ
グラムの活動の一環として或はそれとは別
個にこの活動が行われる。これは1地区1
クラブだけの力では達成困難な社会奉仕活
動を外国のクラブの協力を得て行なうもの
である。
- (3) ロータリー財団活動の拡大——従来のロ
ータリー財団奨学金 (fellowship) の外に
今回専門的訓練のための補助金、研究グル
ープの交換、その他新計画が提案された場
合、管理委員会はこれを検討することを約
する案が新に追加された。これらはいずれ
も国際間の理解、友情の推進に資せんとす
るものである。
- (4) いろいろの種類の青少年の交換プログラ
ム——青少年の間に国際的感覚を高め、友
情を深めて、将来におけるこれらの活動に
備えしめんとするものである。
人類の史上今日ほど国際間の理解と協調の

必要性が痛感される時はない。したがって私
は、本年は特に上に述べた4つのプログラ
ムの推進に各位の心からのご協力をお願いす
る次第です。かくてわれわれの常時となえる
「国際奉仕」は空念仏でないことを世界に示
そうではありませんか。

——1965～66年度

国際ロータリー会長

C. P. H. テーンストラ——

President of R.I. for 1965—66

Dr. C. P. H. Teenstra

上記の1965—66年度の国際ロータリー会長
ティーンストラさんはオランダ Hilversum
クラブ (会員75人) の会員でロータリー歴24
年。同氏は1956—57年度にR. I. 第2副会長
をつとめ、またR. I. 理事および地区ガバナ
ーの経歴を持っておられます。

ティーン ストラ さんは 医博で オランダ
Larenという町にある脊柱骨及び結核患者の
ための Juliana-Oord サナトリウムの記事で
1964年6月7日～11日のトロント国際大会に
おいて正式に会長に選挙されました。

就任のごあいさつ

Greetings



親愛なるわが 第365区の会長並びに幹事の
皆様。このガバナー月信第1号により私の最
初の手紙を皆様にお届けする機会を得ました